

2025年12月22日

株式会社東陽テクニカ

東陽テクニカ、量子コンピューティング人材育成を支援

学生と教員の「量子ジェネラリスト」検定料を全額負担し、 国内の人材基盤強化と技術の社会実装を後押し

株式会社東陽テクニカ(本社：東京都中央区、代表取締役 社長執行役員：高野 俊也、以下 東陽テクニカ)は、一般社団法人日本量子コンピューティング協会(本部：東京都中央区、代表理事：高野 秀隆、以下 日本量子コンピューティング協会)が実施する「量子ジェネラリスト講座」検定について、2025年12月分より、学生と教員を対象に試験費用を全額負担いたします。

東陽テクニカは、2025年7月に IQM Quantum Computers(本社：フィンランド)と日本国内の代理店契約を締結し、量子コンピューティング分野へ本格参入いたしました^{※1}。教育と就業機会をつなぐ本取り組みにより、未来を担う量子技術の専門人材の育成を強化し、量子技術の社会実装の促進に貢献してまいります。

※1 東陽テクニカ ニュースリリース「東陽テクニカ、「オンプレ型」量子コンピューターを日本で販売、大学や企業への実機導入を推進」(2025年8月6日) <https://www.toyo.co.jp/news/detail/id=44396>

【 支援概要 】

対象： 学生、教員

内容： 「量子ジェネラリスト講座」検定試験受験料(学生：5,000円、一般：9,800円)を東陽テクニカが全額負担

期間： 2025年12月の検定(12月6日～1月11日実施)から2028年12月の検定まで(3年間)

※ 本支援内容は、運用状況などを踏まえ変更となる可能性があります。

※ 費用補助の対象は毎年先着200名、申し込みは、1名あたり2回までとなります。



【 概要／背景 】

量子コンピューターは、量子力学の原理を利用した次世代コンピューターです。材料開発、自動運転開発、量子暗号通信、防衛、創薬、環境工学など、従来のコンピューターでは難しい複雑で膨大な計算の処理能力を備えていることから、世界的に注目されています。日本政府も2025年を「量子産業化元年」と位置付けて社会実装を推進しており、2030年までに「量子技術の国内利用者1,000万人」「量子技術による生産額50兆円」

などを目標に掲げています。このように量子分野への関心が高まる一方、企業や大学において量子技術を扱える専門人材の不足が課題となっています。

日本量子コンピューティング協会は、量子コンピューティングの知識を事業活用する人材(ジェネラリスト)と、量子コンピューティングを実装する人材(エンジニア)の育成を目指して、資格認定用の 5 種類の講座を開講し、検定試験を実施しています※2。日本が量子分野で世界をリードするための人材育成を目的に 2024 年 9 月に試験を開始し、これまでに約 260 名が受験しました。今後さらに受験者数の増加を推進し、2026 年末時点で総受験者 1,000 名を目指しています。同協会が提供する検定は、第三者機関による量子関連資格として国内唯一のものであります。

このたび、東陽テクニカが支援するのは「量子ジェネラリスト」検定試験で、量子コンピューティングの基礎からビジネス・研究への応用までを体系的に学べる内容となっています。試験合格者には、日本量子コンピューティング協会を通して量子関連企業からの仕事斡旋も行われ、学びをビジネスへと直結させる仕組みが整っています。今後、全ての講座を対象に学生・教員の検定料負担を予定しており、支援拡大をはかってまいります。

※2 量子ジェネラリスト、量子エンジニア(アニーリング式)、量子エンジニア(ゲート式)。量子エンジニアはそれぞれエントリーとアドバンスの 2 種類。検定試験は毎月開催。検定料は学生：5,000 円、一般：9,800 円。 <https://www.jqca.org/course.php>

<一般社団法人日本量子コンピューティング協会について>

日本量子コンピューティング協会は、量子コンピューティング技術の普及と発展を推進し、日本の産業や学术界における活用を促進することを目的として、2023 年 6 月に設立されました。37 の企業、学術機関が協会員として参画しています(2025 年 12 月現在)。量子コンピューティングの基礎知識や応用分野に関するセミナーやワークショップを日本全国で開催するほか、国内外の研究機関との共同研究プロジェクトを推進しています。

一般社団法人日本量子コンピューティング協会 Web サイト：<https://www.jqca.org/index.php>

<株式会社東陽テクニカについて>

東陽テクニカは、最先端の“はかる”技術のリーディングカンパニーとして、技術革新を推進しています。その事業分野は、脱炭素／エネルギー、先進モビリティ、情報通信、EMC、ソフトウェア開発、防衛、情報セキュリティ、ライフサイエンスなど多岐にわたり、クリーンエネルギーや自動運転の開発などトレンド分野への最新計測ソリューションの提供や、独自の計測技術を生かした自社製品開発にも注力しています。新規事業投資や M&A による成長戦略のもと国内外事業を拡大し、安全で環境にやさしい社会づくりと産業界の発展に貢献してまいります。

株式会社東陽テクニカ Web サイト：<https://www.toyo.co.jp/>

～ 東陽テクニカの量子コンピューター事業について ～

東陽テクニカは、2025 年 7 月に、超電導型量子コンピューターをグローバル展開する IQM Quantum Computers(以下、IQM)と日本における量子コンピューターの販売代理店契約を締結しました。IQM は 5 量子ビットを備えた入門モデルから、先進モデルまで、オンプレミス型の量子コンピューターを提供しています。IQM が有する最先端の量子コンピューター技術と東陽テクニカが展開する多様な事業領域における技術・知見を融合することで量子コンピューターの活用分野を開拓し、ユースケースの創出や新たなビジネスモデルの開発を推進していきます。

★ 本件に関するお問い合わせ先 ★

株式会社東陽テクニカ 経営企画部 広報・マーケティンググループ
TEL : 03-3279-0771(代表) / E-mail : marketing_pr@toyo.co.jp

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。